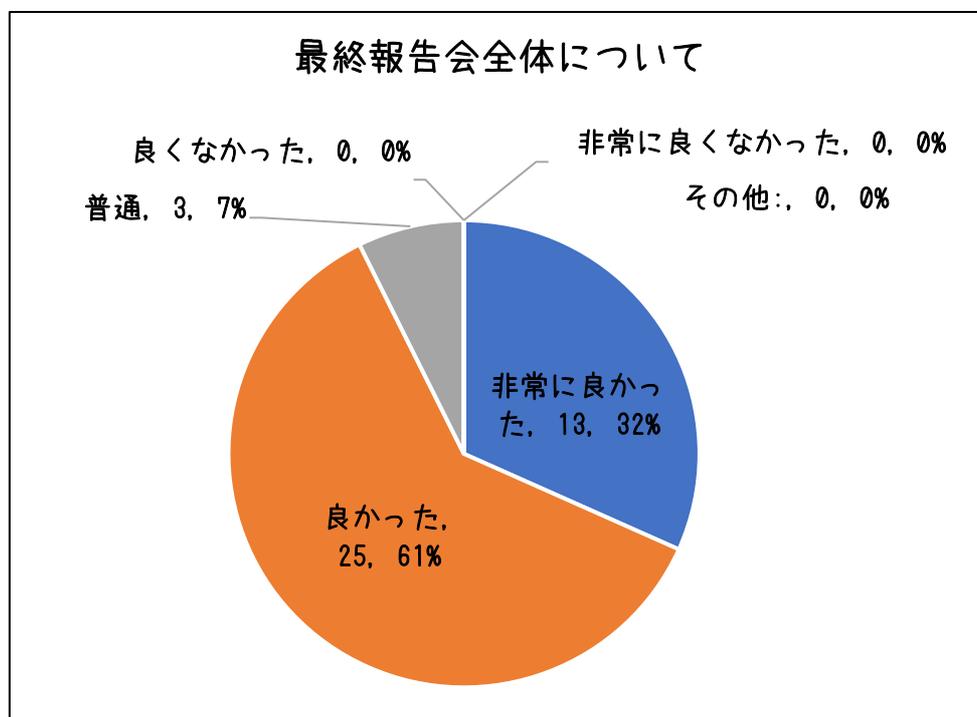


最終報告シンポジウム 参加者アンケートまとめ

アンケート回答数 41

最終報告会全体について

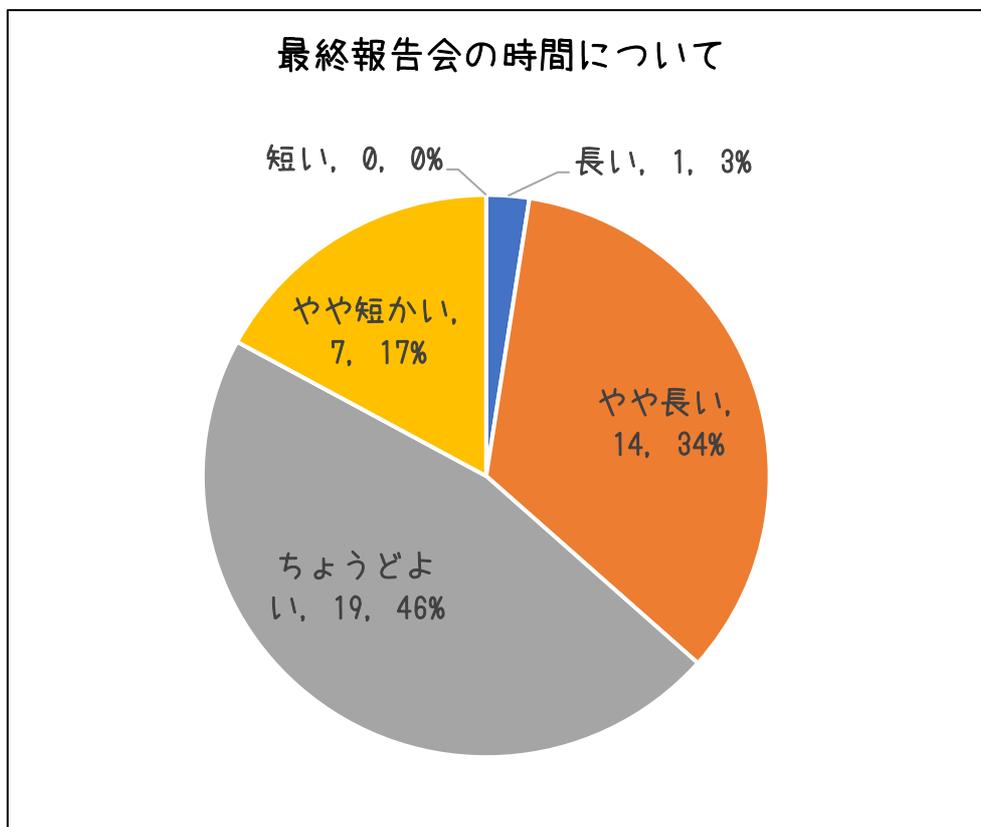


【上記回答の理由】

- ・様々な角度からの報告を聞くことができ良かったです。
- ・生困窓口の現場で働く支援者の状況や課題を知る機会になりました。私はNPOの相談窓口で、生活困窮者の相談対応をする立場ですが、支援者を孤立させない支援は重要と感じます。また、地域の他の窓口の支援者とのつながりが持っていないことは課題に感じていて、今回の報告はとても参考になりました。
- ・北海道外での生活困窮者支援の実践報告を支援機関と行政の両方の立場から伺うことができたため参考になった。
- ・続・後方支援プロジェクトの総まとめとしての報告と、他県の先進的取り組みが大変参考になりました。
- ・補助金を活用した事例や、様々な取り組みについて、大変勉強になりました。
- ・これからの事業なので、わからない事ばかりです。
- ・(2部からの参加でしたが、)現場の状況を踏まえた広報支援組織のあり方+果たすべき機能を考えるうえで有意義でした。
- ・今回初めての参加だったが複数回参加していればもっと良かった
- ・分かりやすい内容でした。
- ・可もなく不可もなく
- ・情報の入りやすい道内の取組だけではなく、全国の取組を学ぶ機会を頂けて良かったです。
- ・共感することが多く、現場での悩みが自分だけではないと気づくことができました。
- ・先進的な取り組みの実践を聞いたから。
- ・今までの情報交換会の結果が、簡潔にまとめられていた。
- ・地域特性のある課題についてお聞きすることができました。
- ・先駆的に実施されている方々の貴重な意見を聞くことが出来た。

- ・1部では主に後方支援の取り組みの内容、2部ではそれにかかわる組織からのお話で参考になりました。
- ・困窮者支援に携わる多くの人達の話が聞けた。
- ・全体の総括、集大成としての報告会として大変意義があった。今回は参加が多かったようだが、初めて参加した方もいたのだとすれば、これを機に今後にもつながっていくものとする。
- ・この広大な北海道において数々の先進的な取り組みが行われているということについて知れたため、生活困窮者支援の活動内容を知ることができ、今後の支援の参考となった。
- ・いろいろな後方支援があることを知り、安心しました。
- ・北海道の先進的な取り組みを知ることができました。
- ・パネルディスカッションで先進地域のお話を聴き、この情報交換会が必要であることを再確認しました。
- ・事業の状況や先進地の取り組みを聞く機会を設けていただき、大変助かりました。
- ・取組の熱量が伝わりました。
- ・この1年を振り返り、また今後必要なことを考えるきっかけになった。
- ・盛だくさんの内容で消化に時間はかかるが、自分のところでどうするかを考えるポイントが網羅されており、大変参考になりました。
- ・函館市では令和4年4月から地域包括支援センターで生活困窮者等の支援も行う事となり、不安でいっぱいだったのですが、後方支援のツールや様々な取り組みがあることを知り、心強く感じました。
- ・様々な取組の実際の主催された方のお話も聞くことができ参考になりました。

最終報告会の時間について

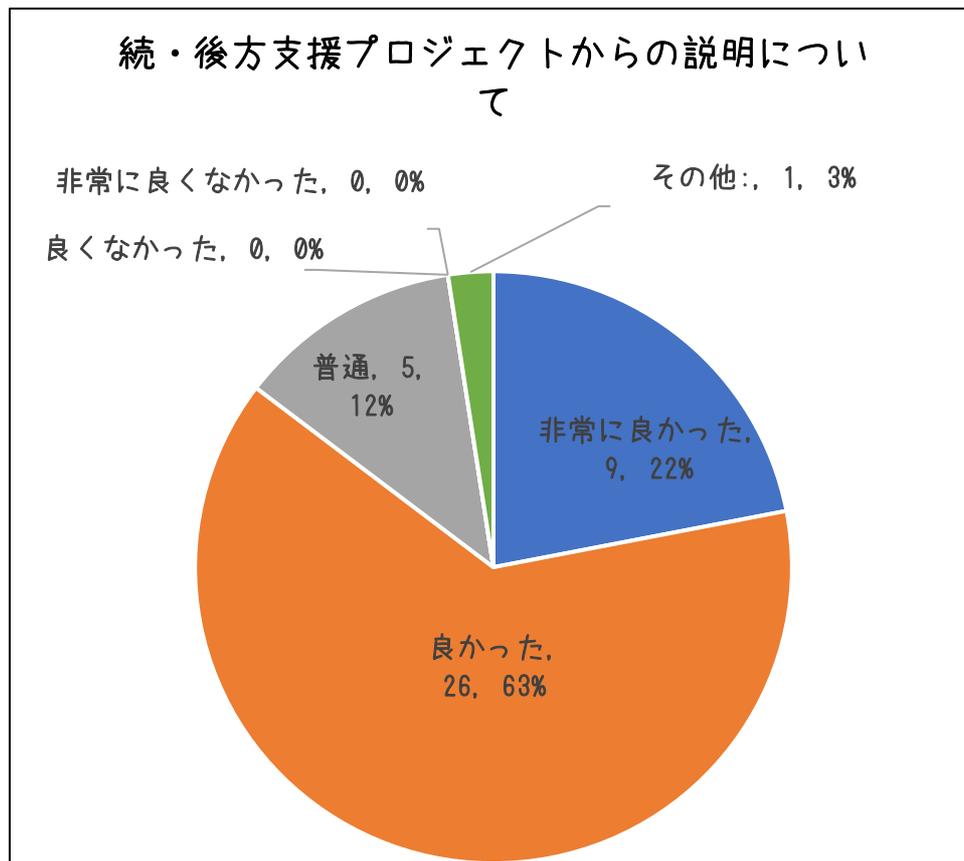


【上記回答の理由】

- ・時間としてはややちょうど良いと思いますが、もう少し休憩があると良いと思いました。

- ・第一部の事業の振り返りから第二部の実践報告まで、要点をまとめてお話いただいたのでちょうど良かったと感じた。
- ・内容は大変参考になりましたが、業務が多忙のため、3時間は少し長く感じます。2時間程度にしていただけると参加しやすいと思います。
- ・なかなか入室ができないので、入室に失敗したかと勘違いしました。
- ・短い時間に膨大な報告をいただいたのでかなりのスピードで、何度か見失った
- ・長い時間であると集中力が途切れてしまうため。
- ・駆け足だったと思います。魅力的な方々が早口のまま閉会したことに残念です。
- ・3時間程度であると参加しやすい。
- ・最終報告会しか参加できなかったのが最初から参加していればもっと内容が把握できたのかもしれませんが報告だけだったためプロジェクトの詳細までお聞きしたかったです。
- ・ボリュームがあるのでやむを得ないと思いますが3時間は長かったと思います。
- ・もう少し深く登壇者の話が聞けると良かった。
- ・性質上、全ての事業を扱うため時間が長くなるのは仕方がないと思うが、現場を3時間不在にするのは少々厳しかった。
- ・多くの取り組みがあったということもあって、一つ一つもう少し深掘りして聞きたいシーンもあったものの、時間自体は長かった。二日間構成でも良かったように思う。
- ・発表者の方々が、多くじっくり話を聞きたかったです。
- ・OFF-JTと考えておりますのでこのくらいがちょうど良いのかなと思います。
- ・良い内容での研修なので、もっとゆっくり聞きたかった気持ちが強いです。ゆっくりにするとさらに時間が長くなるので2回に分けても良かったのかなと思います。
- ・内容が盛り沢山で若干、消化不良気味に感じました。
- ・もう少し詳しく聞きたいと感じる部分もあったため、少し短く感じました。

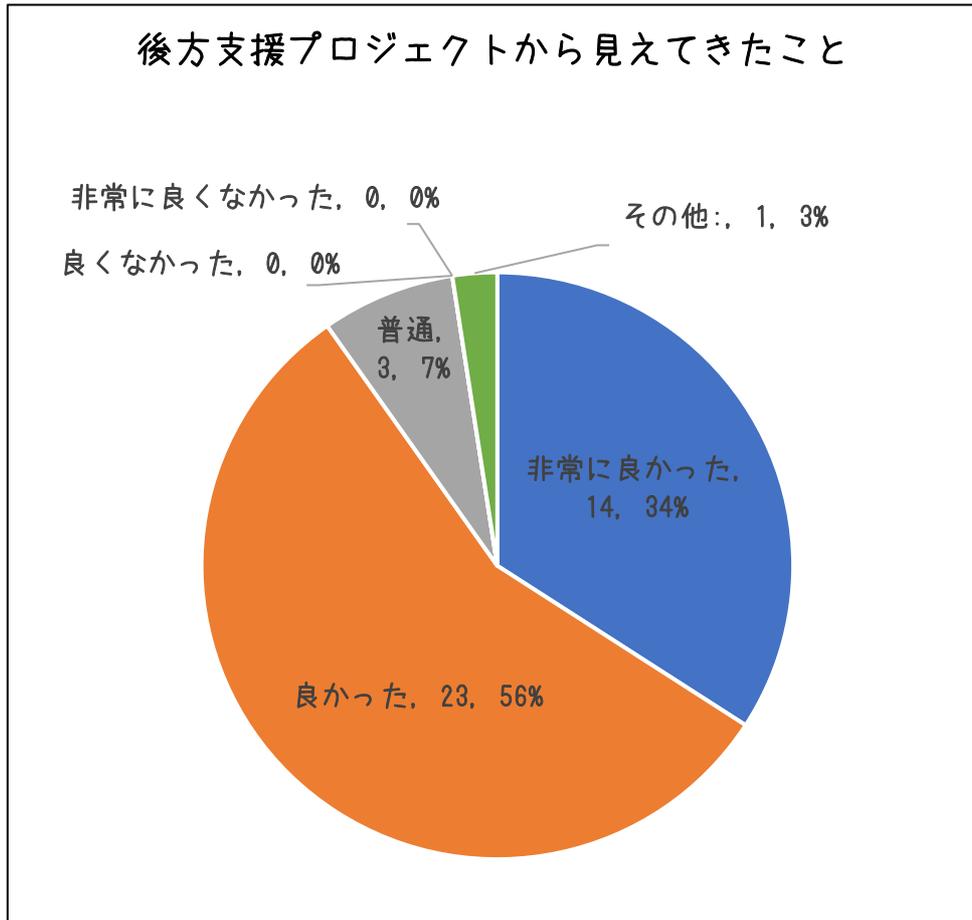
1部 続・後方支援プロジェクトからの説明について



【上記回答の理由】

- ・様々な生活困窮者支援に関する取り組みを知ることができ、参考になりました。
 - ・ゲストハウスを連携したシェルターの確保など、プロトタイプとして参考になる取り組みが多かったです。
 - ・後方支援のツールをいくつかの自立支援機関がどのように活用していたのか、利用した自立支援機関の声も紹介いただいたのでわかりやすかった。
 - ・LINEを活用した取り組みや、ゲストハウス網の構築など、大変勉強になりました。
 - ・なんとなく理解した感じでした。
 - ・資料があるので、説明は簡潔でよく、実際そのようにされていた。
 - ・コロナで会えなくなりデジタル化が進んだことが逆に北海道という広大な場所での遠距離支援にメリットを生んだのではないかと思います。
 - ・後方支援の取り組みがよくわかりました。地域性により制度として構築されているもの、ないものがあり、広域で利用できることは地域の格差が生まれにくくなり、支援者及び要支援者双方メリットがあると思います。
 - ・仕事のデジタル化を図ることは当事業所も課題であるため、取り入れられるものは取り入れたと思った。
 - ・オンライン就労準備について、道社協で行っている事業との違いが分からなかった。”
 - ・事務局の説明だけでなく、実際に関わった方（ゲスト？）が登場して率直な感想等が聞いたのが良かった。実際の利用方法がイメージしやすかったし、何より親近感を感じた。
-
- ・報告内容を詳しく知りたいと思いました。資料があると良かったです。
 - ・各プロジェクト共に当地域では進みにくい社会資源のため、利用できる可能性を大いに感じます。すでに利用させていただいているものもありとても助かっています。特にデジタル化については今後の必要性を感じてはおりますが、自分の勉強不足でどこをデジタル化することで業務負担の軽減ができるのかわからないという課題もあります。”
 - ・事業を利用している支援者からの話を聞いて具体的なイメージ等が付きやすかったです。
 - ・これからも続けばいいと思ったから
 - ・盛りだくさんの内容に改めて感謝いたします。せっかくの成果物については有効活用できるよう学んでいきたいと思います。
 - ・(2部からの参加でしたが、)興味を抱きました。
 - ・興味のあるテーマばかりであるが故に、若干詰め込みすぎのように感じました。
 - ・今後の支援に活用できそうな内容が多く、必要な際にはぜひ、活用させていただきたいと思います。

第2部 後方支援プロジェクトから見てきたことについて



【上記回答の理由】

- ・生活困窮者支援に関わる支援者を孤立させない仕組みづくりの重要性を感じました。
- ・各地域でのネットワークづくりとともに、都道府県を横断した支援者同士のネットワークでの知恵や資源の共有も求められているように感じました。今回、オンライン開催だったため、遠隔からも参加でき、貴重な話が聞けました。こういった形でオンラインだからこそそのメリットもあるので、交流会・勉強会の企画・運営はいろいろと工夫ができる気がします。ありがとうございました。
- ・千葉県の支援者を支える取り組み、東京都の行政の立場からの支援者支援、長野県の社協の立場での困窮者支援、いずれも参考になった。当機関も支援において横の連携が必要なケースが増加しているので、後方支援プロジェクトのツールも活用したり、本日伺った内容を参考に行政や関係機関との連携した支援が行えるようにアウトリーチを行っていきたい。
- ・コロナ渦で日々状況が変化中、ニーズに合わせた社会資源を創り出すことの大切さを実感しました。また、支援者を支援する仕組みとして、「事例集の作成」は大変役立つと思います。『小さなことからスタートし、政策提言へつなげていく』という言葉が響きました。お互いに丸投げではなく、協力し合いながら助け合える支援者ネットワークを目指していきたいです。
- ・私なりのキーワード 「支援者の保護」つながりの大切さを感じました。
- ・千葉県や長野県など、県単位の後方支援組織のあり方を考える良い参考になりました。
- ・地方での取り組みを知り、自分たちの地域にも役立てたいと思います。
- ・途中退席のため不明

- ・参加者の事業に対する考え方が聞いて良かった。多くのコメントーターを用意するのは大変だったと思います。お疲れ様でした。”

- ・パネリストの方のお話を聞いて、相談支援とソーシャルワークに対する知識や実践力が必要と改めて感じました。
- ・他の地域での支援者支援の情報を得ることができてよかったです。支援者は一人ではない、ネットワークを広げることでお互いに支えあえると思いました。
- ・都道府県社協からの視点、委託する都道府県の視点等それぞれのパネリストの視点からのお話が参考になりました。
- ・コロナ禍の困窮者支援の困難な中、支援者の孤立を防ぐために様々な関係機関との連携を密にしていき必要性を感じた。
- ・支援者の熱い想いが伝わってきました。具体的な活動状況が分かり、今後の支援の参考になりました。
- ・千葉県、東京都、長野県共に支援員が孤立しないような取り組みがされていると感じました。困窮制度は適切な制度につなげる役割ですが丸投げされることも多く支援員が孤立することも多いと思いますのでこの取り組みが素晴らしいと思います。
- ・佐渡さんの「やりすぎました」に対し「最高です！」とお礼を言いたいです。佐渡さんの思いが詰まった深い一言でした。ありがとうございます。”
- ・先進地の取り組みを聞いたことが大きいです。今後も事業を継続してもらえるのであれば情報交換の他にこのような機会があると嬉しいです。
- ・ネットワークの大切さが改めて分かりました。
- ・他地域の活動そのままは難しくても、参考にしながらアイデアを出していければと思いました。
- ・視聴者もともに意見交換できると、より理解が深まったように思います。
- ・他県の方の、コメントまでいただける貴重な機会でした